

## がん患者会交流会の開催状況について

### 1. 目的

- ・がん患者会・サロン・患者支援団体との交流や情報交換等を通して団体同士の連携を深め、がん患者会活動を促進させる
- ・市内のがん患者会活動を充実させることにより、がん患者とその家族の療養生活の質の向上を図る
- ・がん相談支援センターと市内で活動中の患者会との交流を図り、包括的ながん支援体制を構築する。

### 2. 対象者

がん患者会、サロン、患者支援団体で活動しているがん患者、家族・遺族、支援者  
がん相談支援センター・がん相談室

### 3. 開催状況

#### 第2回がん患者会交流会（平成28年8月6日実施）

##### ①内容

がん相談支援センターと市内で活動中の患者会との交流

##### ②参加人数：43名（男性25名・女性18名）

（内訳）

がん患者会・サロン 参加団体：13団体（ひょうごがん患者連絡会4団体）

参加人数：33名（男性22名・女性11名）

がん相談支援センター 参加団体：3病院

参加人数：10名（男性3名・女性7名）

#### 第3回がん患者会交流会（平成29年1月28日実施）

##### ①内容

元ちゃんハウス（金沢市）についての講演会

がん相談支援センターと市内で活動中の患者会の交流

##### ②参加人数：66名（男性28名・女性38名）

（内訳）

がん患者会・サロン 参加団体：16団体（ひょうごがん患者連絡会5団体）

参加人数：62名（男性27名・女性35名）

がん相談支援センター 参加団体：3病院

参加人数：4名（男性1名・女性3名）

### ③交流会の感想

- ・はじめて参加したがたくさんの患者会があり、それぞれいろいろな活動をされていることを知った。グループ分けが上手く、様々な方の意見を聞いた。
- ・患者さんの生の声がたくさん聞けてとても勉強になった。医療者がもっと参加したほうがよい。立場の違う意見が聞けるこのような場は有意義だと思う。
- ・元ちゃんハウスのような施設を開設してほしい。
- ・年齢や病気（部位）問わず様々な方と話し合いができ、とても刺激的だった。
- ・第1回に比較して今回は参加団体、参加人数とも倍増していて同慶に思う。
- ・ワークショップがあるときには事前にテーマを知っておきたかった。
- ・参加者間の交流時間がもう少し欲しかった。
- ・3回のがん患者会交流会から、今後どのような活動につなげるのか教えてほしい。
- ・活動の宣伝ができてよかった。

### ④患者会に期待すること

- ・他団体との交流。1グループ5～6人ほどで話し合いをしたい。
- ・講演を聞き、その後そのテーマに沿って話し合いをしたい。
- ・災害時に不安に思っていること、注意するほうがよいことを話し合いたい。
- ・医療者（医師、看護師、カウンセラー等）との交流。
- ・精神的なサポート面（患者同士の話し合い、分かち合い）の時間をとってほしい。
- ・マギーズハウスのコンセプトを持った施設を作るための前向きな意見交換会
- ・就労支援に関すること（ハローワーク、社労士さんから話が聞きたい）
- ・患者団体だけの空間を大切に、自分たちで何かをするという意見をまとめる工夫がほしい。